

全国児童青年精神科医療施設協議会会員施設

1. 学会の会員構成等

28施設（正会員19ヶ所、オブザーバー9ヶ所）

・正会員施設

- ①市立札幌病院静療院 児童心療センター
- ②茨城県立友部病院
- ③千葉市立青葉病院
- ④国立精神・神経センター国府台病院
- ⑤東京都立梅ヶ丘病院
- ⑥神奈川県立こども医療センター
- ⑦新潟県立精神医療センター
- ⑧山梨県立北病院
- ⑨埼玉県立精神医療センター
- ⑩静岡県立こころの医療センター
- ⑪三重県立小児心療センターあすなろ学園
- ⑫大阪府立精神医療センター 松心園
- ⑬大阪市立総合医療センター
- ⑭兵庫県立光風病院
- ⑮島根県立湖陵病院 若松病棟
- ⑯(医) カメリア大村共立病院
- ⑰自治医科大学とちぎ子ども医療センター
- ⑱独立行政法人国立病院機構 肥前精神医療センター
- ⑲長崎県立精神医療センター

・オブザーバー施設

- ①北海道立緑ヶ丘病院
- ②岩手県立南光病院
- ③総合病院国保旭中央病院
- ④千葉県こども病院
- ⑤愛知県立心身障害者コロニー 中央病院
- ⑥独立行政法人国立病院機構 香川小児病院
- ⑦独立行政法人国立病院機構 西別府病院
- ⑧宮崎県立富養園
- ⑨岡山県立岡山病院

・会員 483名

児童精神科医 97名

- | | |
|--------------------------------|-----|
| (1)一般の小児科医・精神科医 | 0人 |
| (2)子どもの心の診療を定期的に行っている小児科医・精神科医 | 42人 |
| (3)子どもの心の診療に専門的に携わる医師 | 55人 |

2. 対象疾患領域等

・ICD-10でF0~9に属する疾患で幼児から18歳~20歳までの児童青年の精神及び行動の障害が対象。

・入院治療を行っている疾患で多いのが広汎性発達障害、神経症性障害、統合失調症、行動及び情緒の障害(AD/HD、行為障害、社会的機能の障害)、摂食障害である。

・同じく虐待を受けた子どもの入院も多い。

・外来はICD-10全ての疾患にわたっている。

3. これまでの取り組み

○研修会あり。(※研修会参加者：多職種混合)

- ・平成14年度 新潟県立精神医療センター主幹
「高機能広汎性発達障害児の治療と教育的支援」10施設発表、参加人数192人
- ・平成15年度 千葉市立青葉病院主幹
「統合失調症」14施設発表、参加人数199人
- ・平成16年度 大阪市立総合医療センター主幹
「解離をめぐって」14施設発表、参加人数226人
- ・平成17年度 東京都立梅ヶ丘病院
「発達障害と新たな展開」15施設発表、参加人数315名

・研修会の内容について

年1回3日間をかけ、1施設1演題とし、テーマに沿った入院治療症例を発表している。

基本的には翌年度のテーマに沿って1年間の研究取り組みを多職種チームを組んで行う方法をとっている。

○全国児童青年精神科医療施設協議会会員施設のうち6ヶ所（東京都立梅ヶ丘病院、国立精神・神経センター国府台病院、肥前精神医療センター、神奈川県立こども医療センター、大阪市立総合医療センター、静岡県立こころの診療センター）は、レジデント制度を取り入れている。三重県立小児心療センターは研修を希望する医師を常勤医として若干名受け入れている。

4. 平成18年度の取り組み

・平成18年度研修会は札幌市立札幌病院清療院児童心療センター主幹

「入院治療と育ち」、16施設発表、

参加人数255名（医師77名、看護師89名、心理59名、PSW11名、OT4名、
教師19名、保育士14名、事務5名、指導員1名、栄養士1名）

・発表内容

① 3年半の入院期間を要した男児の入院治療に関する検討

～仲間集団の中での生活を通した”こころの育ち”について～

市立札幌病院清療院小児病棟

② 長期間の閉じこもりから家庭内暴力が激化し入院に至った強迫性障害の一例

～入院治療が果たした役割について～

茨城県立友部病院

③ 不登校の学童に対する看護師の関わりと子どもの変化

～精神科病棟における子どもの発達を考える～

神奈川県立こども医療センター

④ 3人の小6女兒が院内学級で過ごした1年間

国立精神・神経センター国府台病院

⑤ 「入院治療と育ち」について考えさせられた思春期女子症例

大阪市立総合医療センター

⑥ 子どもが育つ治療環境を目指して

～看護方式と病棟ルールをめぐって～

静岡県立こころの医療センター

⑦ N君が不登校を克服するまでの看護経過

～育ちの看護を考える～

宮城県立富養園

⑧ 「できなかった1000ピースのパズル」

～多彩な症状を呈した10才女兒の入院治療経過～

- 島根県立湖陵病院若松病棟
- ⑨ グループワークにおける子どもの育ちを振り返って
～調理グループを通して～
- 千葉市立青葉病院
- ⑩ 創造する体験の積み重ね
～作業療法を通じてもー考察～
- 山梨県立北病院
- ⑪ 児童思春期病棟における看護の関わりの工夫
～カードを用いて看護を実践した2事例から～
- 埼玉県立精神医療センター
- ⑫ 9才で発症し長期入院の統合失調症男児の事例から、育ちの環境としての病棟を考える
- 東京都立梅ヶ丘病院
- ⑬ 激しい自傷行為をくり返す18才女性へのアプローチ
- 兵庫県立光風病院
- ⑭ 施設にはいりたくなかった女子中学生の一例
- (医) カメリア大村共立病院
- ⑮ 乳幼児期より長期間の虐待を受けた中学生男児への感情表出の援助
～ほめる関わりを通じてのフェイススケールから感情表出の広がりを見る～
- 三重県立小児心療センターあすなろ学園
- ⑯ 当園入院ケースからみた被虐待児の家庭背景について
- 大阪府立精神医療センター松心園

5. 今後の取り組み

- ・第38回研修会

期間：平成20年2月14日～16日

主幹施設：三重県立小児心療センターあすなろ学園

テーマ：「入院治療と地域連携」

- ・各施設がレジデント制度導入に積極的に取り組むことを幹事会で確認した。